

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 17 日作成)

小委員会名	設計方法小委員会	主 査 名：奥田宗幸 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岑生 主 査 名：
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・人間や環境に配慮した新しいデザインのあり方、人間 - 環境系のデザインにおける「マクロなデザインプロセス」(与条件を問い直すところから実際に使用されその結果がデザインにフィードバックされる)の仕組みを探求すること。</p> <p>1. マクロなデザインプロセスの事例収集と分析</p> <p>2. 設計方法シンポジウムの開催</p> <p>3. 小委員会 HP (ホームページ) の拡充</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>奥田宗幸(東理大), 山田哲弥(清水建設), 本江正茂(宮城大), 田浦俊春(神戸大), 竹内昌義(みかんぐみ), 近角真一(集工舎), 仲隆介(京都工繊大), 日色真帆(愛知淑徳大), 増村昭二(日本設計), 両角光男(熊本大), 門内輝行(京都大), 渡邊朗子(慶應大)</p>	
設置 WG (WG 名:目的)	<p>設計プロセス研究WG: 文献・記事・論文等の収集およびレビューを行い、各研究活動の体系的な見地に立った位置づけを検討</p> <p>設計支援システムWG: 「デザイン環境」としての設計支援システムの研究</p>	
2005 年度予算	274,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s7/index.html

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	コラボレーションによるデザイン (彰国社: 2006/3 刊行予定)
講習会	該当無し
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第7回設計方法シンポジウム 関係性のデザイン - オブジェクトレベルからメタレベルへ 参加者数 60 名 (資料名) 同上
大会研究集会	該当無し
対外的意見表明・パブリックコメント等	該当無し
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 事例収集・分析: 成果をシンポジウム資料集として刊行。 2. シンポジウム: 第7回設計方法シンポジウムを開催。(1/23) 3. ホームページ: イベント等にあわせ随時更新。
委員会活動の問題点・課題	1. 若手研究者の活躍の場を提供する必要がある。(WG の設置で対応) 2. 首都圏外の委員が多く、予算上参加しにくい。(メーリングリストの活用) 3.

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。